

IR

第53期第2四半期
営業のご報告
2016年4月1日～9月30日



Business Report

第53期 第2四半期連結累計期間



株式会社 あじかん なたに のぼる
代表取締役社長 中谷 登

株主のみなさまへ

増収増益の決算をご報告申しあげます

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。当社グループの第53期第2四半期連結累計期間(2016年4月1日から2016年9月30日まで)の営業の概況および決算等についてご報告申しあげます。

ご高承のとおり、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益および雇用・所得環境に緩やかな回復基調が見られるものの、中国を始めとするアジア新興国や資源国の景気減速懸念に加え、英国のEU脱退問題などの影響により金融資本市場が不安定な動きとなるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、食品の安全・安心への関心が高まる中で、円高の影響により外貨建て輸入品価格は低下したものの、個人消費に足踏みが見られるなど、一定の厳しさを残した経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは『経営基盤の拡大』と『新事業の成長』をテーマとした第10次中期経営計画の2年目をスタートさせ、「営業基盤の拡充と市場開拓」、「商品の研究開発と技術開発、およびマーケティング力の強化」、「利益構造の改革」、「全社供給体制の強化と効率化」、「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、各種イベントに合わせた販促活動や主要都市での展示会開催などに加え、新規エリアへの拡販体制の強化を行い、特に

スーパー・マーケット業態を中心に玉子焼類や野菜加工品の売上が伸張いたしました。また、海外関係会社の業績も順調に推移したほか、米国、豪州、東南アジア諸国などへの輸出売上も伸張いたしました。中国国内におきましては2016年5月、広東州広州市にアンテナショップ「巻楽」をオープンいたしました。

他方、「ごぼう茶」ならびに関連製品の売上高につきましても、品揃えの充実、販売促進活動の強化などにより、需要が増加しました。

これらの結果、競合他社との激しい価格競争などもありましたが、売上高につきましては、前年同四半期を上回る結果となりました。

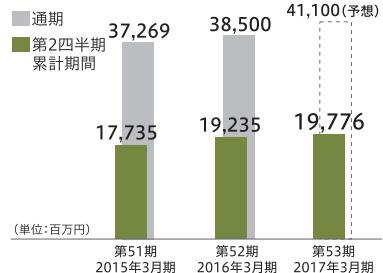
損益面におきましては、主に増収による販売利益の増加に加え、玉子焼類の需要拡大で高い工場生産稼働率が維持できしたことや、主要原材料価格の安定推移、省エネ、生産歩留まりの改善などによる製造原価の低減、円高による外貨建て仕入商品の原価低減などにより、前年同四半期を大幅に上回る利益を創出することができました。

通期業績予想

通期は、業績に大きな影響を与える年末年始や恵方巻の販売動向、冬場の原材料価格の動向など、先行き不透明で流動的な要素も多くありますが、当第2四半期連結累計期間までの状況を勘案して、2016年11月1日に当初予想を上方修正いたしました。売上高41,100百万円、営業利益1,450百万円、経常利益1,350百万円、親会社に帰属する当期純利益750百万円を見込んでおります。

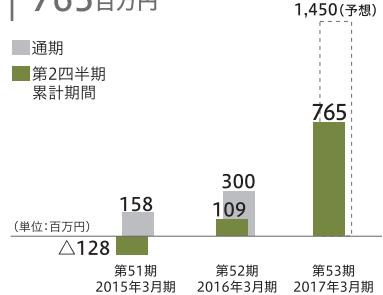
売上高

19,776百万円



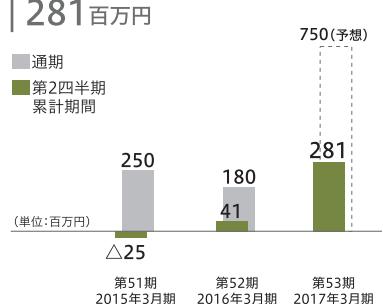
営業利益(損失△)

765百万円



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益(損失△)

281百万円



■ 第2四半期 連結貸借対照表

科目	前連結会計年度 2016年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2016年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	9,600	※1 10,382
現金及び預金	1,456	2,267
受取手形及び売掛金	4,781	4,907
商品及び製品	2,174	1,925
仕掛品	10	9
原材料及び貯蔵品	973	970
繰延税金資産	138	147
その他	108	163
貸倒引当金	△ 43	△ 7
固定資産	8,957	※2 8,527
有形固定資産	6,867	6,759
建物及び構築物	1,893	1,808
機械装置及び運搬具	1,255	1,194
土地	3,371	3,371
リース資産	75	77
その他	271	308
無形固定資産	129	108
ソフトウエア	64	54
リース資産	31	25
その他	34	28
投資その他の資産	1,959	1,658
投資有価証券	918	843
長期前払い費用	3	3
繰延税金資産	3	23
その他	1,061	818
貸倒引当金	△ 27	△ 29
資産合計	18,557	18,909

注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科目	前連結会計年度 2016年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2016年9月30日現在
(負債の部)		
流動負債	7,127	※3 7,645
支払手形及び買掛金	2,685	2,974
短期借入金	2,654	2,649
リース債務	59	55
未払法人税等	108	162
賞与引当金	269	355
役員賞与引当金	31	13
その他	1,318	1,435
固定負債	1,286	※4 1,245
長期借入金	561	694
リース債務	78	75
役員退職慰労引当金	390	241
退職給付に係る負債	205	182
資産除去債務	49	49
その他	1	1
負債合計	8,413	8,890
(純資産の部)		
株主資本	9,578	9,768
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	7,441	7,631
自己株式	△ 64	△ 64
その他の包括利益累計額	565	250
その他有価証券評価差額金	285	228
繰延ヘッジ損益	△ 20	△ 24
為替換算調整勘定	369	101
退職給付に係る調整累計額	△ 68	△ 55
純資産合計	10,143	※5 10,019
負債及び純資産合計	18,557	18,909

※1 流動資産は、前連結会計年度末に比べ782百万円増加し、10,382百万となりました。
主な増減要因は、現金及び預金の増加810百万円、受取手形及び売掛金の増加126百万円、商品及び製品の減少248百万円であります。

※2 固定資産は、前連結会計年度末に比べ429百万円減少し、8,527百万となりました。
これは主に、有形・無形固定資産の減価償却の進行や、投資有価証券の時価評価が減少したことによるものであります。

※3 流動負債は、前連結会計年度末に比べ518百万円増加し、7,645百万となりました。
主な増減要因は、支払手形及び買掛金の増加288百万円、その他に含まれる為替予約の増加244百万円、賞与引当金の増加86百万円、未払法人税等の増加53百万円、役員賞与引当金の減少17百万円であります。

※4 固定負債は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、1,245百万となりました。主な増減要因は、政策的な借入による長期借入金の増加133百万円、役員退職慰労引当金の減少148百万円であります。

※5 純資産合計は、前連結会計年度末に比べ124百万円減少し、10,019百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上281百万円などによる増加要因もありましたが、為替換算調整勘定267百万円や、剩余金の配当91百万円、その他有価証券評価差額金56百万円が主な減少要因となったためです。
この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント低下し、53.0%となりました。

※6 販売面におきましては、主要都市での展示会開催や「ちらし寿司の日」などのイベントに合わせた販売促進活動、北海道、沖縄、甲信越、北陸などの新規エリアへの販売体制の強化を行ってまいりました。その結果、スーパー・マーケット業態を中心に玉子焼類や野菜加工品の売上が伸張いたしました。
また、中国関係会社の業績が好調に推移していることに加え、2016年5月には広東省広州市にアンテナショップ「巻楽」をオープンし、一般消費者向けに巻寿司などの販売をスタートいたしました。中国以外にも、米国、豪州、東南アジア諸国への輸出売上も伸張しております。
ヘルスフード事業におきましては、「ごぼう茶」をはじめとする関連製品の品揃えを充実させ、販売促進活動の強化により需要が増加しました。
その結果、売上高は前年同四半期を上回ることができました。

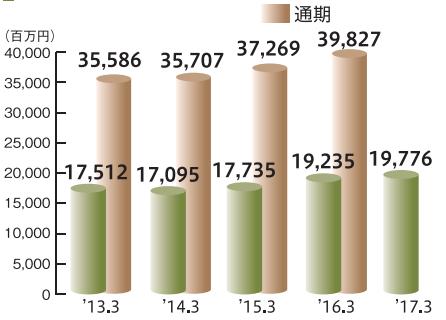
※7 損益面におきましては、主に増収による販売利益の増加に加え、高い生産稼働率を維持することができたことや、鶏卵を中心とする主要原材料の価格が安定的に推移したこと、省エネ、生産技術向上による歩留まり率の改善などによる原価低減努力により、製造原価率を前年同四半期以下に抑えることができました。
また、外貨建ての輸入品の仕入価格が円高により抑制されたことで、営業利益は765百万円(前期比599.5%増加)となりました。

注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

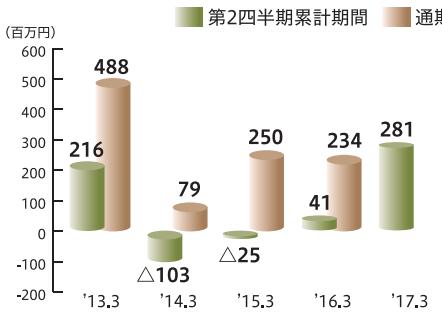
連結業績の推移

証券コード : 2907

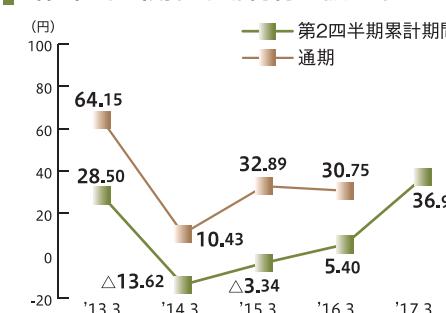
売上高



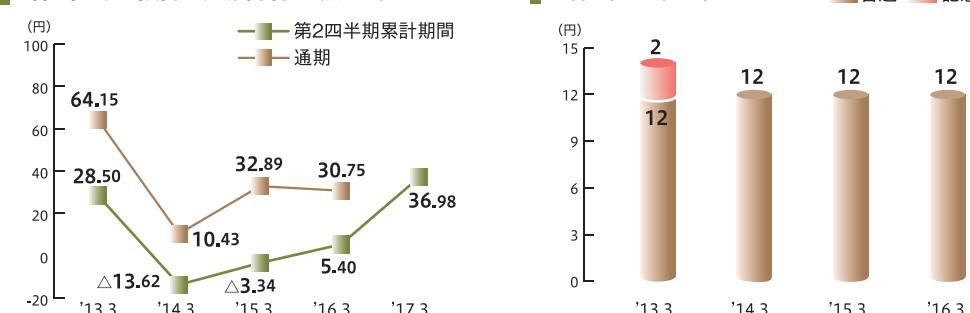
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益(損失△)



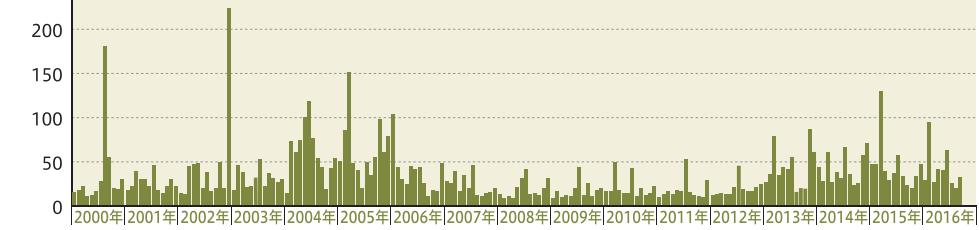
1株当たり当期(四半期)純利益(損失△)



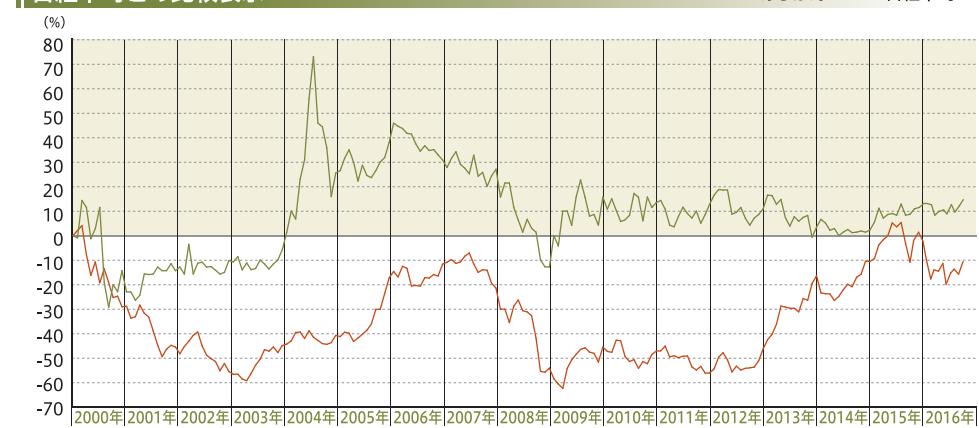
1株当たり配当金



株価・売買高の推移



日経平均との比較表示



注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

IR Information

株主メモ

- 事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定 時 株 主 総 会 每年6月
- 基 準 日 (定時株主総会) 3月31日
(期 末 配 当) 3月31日
(中 間 配 当) 9月30日(当期中間配当は未実施)
- 株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 上 場 証 券 取 引 所 東証2部
- 公 告 の 方 法 (公告掲載URL) 電子公告
<http://www.ahjikan.co.jp>
※やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

【ご注意】

1. 株主さまの住所変更など各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でも、お取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で、お支払いいたします。

会社概要

- 商 号 株式会社あじかん (AHJIKAN CO.,LTD.)
 設 立 年 月 日 1965年3月19日 (創業 1962年)
 主要な事業内容 鶏卵加工製品・野菜加工製品・水産練製品・その他食品の
製造、販売、および卸売、農産物の生産、販売



● 小誌についてのご意見は『膳』P.18のお便りコーナーまでお寄せください。 ●